

**鉾山で自然の恵みと冬遊びを楽しむ
冬休みスペシャルウィーク2016**

1月9日(出)から11日(月)までの3日間、ふおれすと鉾山で『冬休みスペシャルウィーク2016』(NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ主催)が行われました。

初日の9日は『手作り花火体験』として、同施設で作られた木炭の粉を利用した線香花火づくり体験が行われ、参加者は「初めての経験でしたが、楽しく作れました。花火は凄くきれいでした」と感想を語ってくれました。

このほか期間中、森の散策やストラップ製作体験などの各種イベントが実施され、また、雪の滑り台やスケートリンクなどの設置もあり、参加者たちの歓声が鉾山町の山々に響きました。

1/9~11



▲真剣な表情でくぎを打つ



▲勢いよく木材を切る参加者

自分で作った工作は特別だね

郷土資料館『冬休み工作教室』

1/8

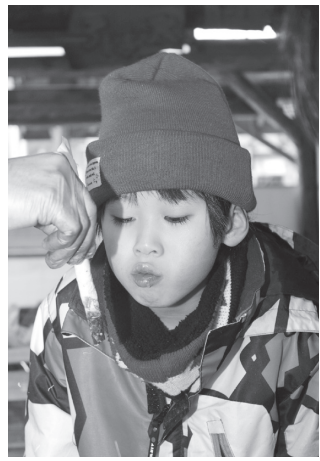
1月8日(金)、郷土資料館で『冬休み工作教室』(市教育委員会主催)を開催しました。

この日は、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』のメンバーが、参加した小学生に本立ての作り方を指導。子どもたちは、木材をのこぎりで切り、くぎを金づちで打つなど、慣れない作業に苦労しながらも一生懸命作っていました。

幌別西小学校2年生の原田遼平くんは「のこぎりでの作業は難しかったけれど、切り終わったときはすごくうれしかったです」と元気づく話してくれました。



▲雪の中そり滑りを楽しむ子どもたち



▲火がまわるよう手作り花火に息を吹き込む



▲参加者には熊笹茶やお菓子も振る舞われた

『はしご乗り』で繰り出される妙技に拍手喝采

1/7

平成28年登別市消防出初式

1月7日(木)、市民会館で『平成28年登別市消防出初式』(市主催)が行われ、消防職員や消防団員、陸上自衛隊幌別駐屯地消防ポンプ班などの消防関係者約100人が参加しました。

駐車場で行われた分列行進では、寒空の下、消防職員・団員が緊張感を持ちながらきびきびと行進しました。その後、大ホールで、長年にわたり消防活動に貢献された方に対する表彰が行われたほか、西胆振若鷹会、木工事業連合組合、西胆振若鷹会、千歳若鷹会、千歳若鷹会、千歳若鷹会の方による『木遣り歌』や『纏振り』、『はしご乗り』などの伝統芸が披露され、参加者や観客を楽しませました。

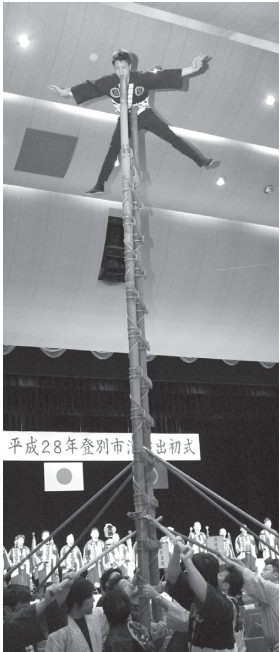
特に『はしご乗り』では、西胆振若鷹会の方が、高さ約6.5mのはしごの上で『腕溜め』や『胴鯨』、『八艘』などの妙技を繰り出し、見学に来ていた保育所の園児や地域住民から「とっても高い」、「すごい」など驚きの声が上がるとともに、たくさんの拍手が贈られました。



▲分列行進する消防職員・団員



▲華麗な『はしご乗り』に見入る園児たち



▲江戸時代の町火消の伝統をいまに伝える『はしご乗り』